

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

## ライトニング FAX バージョン 5.5 リビジョン68 変更内容について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。  
さて、当社製品「ライトニング FAX」(Ver. 5.5-67->Ver. 5.5-68)に  
おいて、下記のような改修を行いましたのでお知らせ致します。

敬具

記

### [強化項目]

以下の機能を強化しました。

### [システム全般]

- ◎以下の通信デバイスに対応しました。  
<NTT データ先端技術社製 VOISTAGE マルチメディアボックス>
  - ・VS-421MB (アナログ4回線)
- ◎動作対象から Windows Server 2003 を除きました。
- ◎NTT データ先端技術社製 VOISTAGE マルチメディアボックスの動作対象から Windows Server 2008 (32bit) を除きました。
- ◎アバール長崎社製 FAX ボードを非対応としました。

### [サーバ機能関連]

- ◎ネットワーク印刷時の情報付加機能で付加できる項目対象を拡充しました。
- ◎自動返信機能において、自動返信の対象となるリソース番号を指定できるようにしました。
- ◎FAX 受信時にライトニング FAX 電話帳を参照する以下の機能で、ライトニング FAX 電話帳内のすべての「連絡先リスト」に対して情報検索できるようにしました。
  - ・受信時自動ルーティング
  - ・電話帳情報の自動設定
  - ・自動返信
  - ・スタンバイ登録スキップ
  - ・送信 FAX 番号自動確認
  - ・会社名自動設定
  - ・電話帳利用の FAX 返信

### [ドライバ機能関連]

- ◎以下の NTT データ先端技術社製 VOISTAGE マルチメディアボックスを使用する場合の、ダイヤルトーン検出に関する設定のデフォルト値を「ダイヤルトーンを検出して発信する」に変更しました。
  - ・VS-411MB

◎NTT データ先端技術社製 VOISTAGE マルチメディアボックスにおいて、通信速度を V.34 規格の 33600bps (スーパーG3) に設定した場合、以下の設定の相手先 FAX 機に対しても、G3 ヘフオールダウンして通信を継続できるようにしました。

・V.8 規格：有効/V.34 規格：無効

#### [クライアント機能関連]

◎あらかじめ定義してある条件に基づいて FAX 送受信履歴を検索集計し、結果件数を表示するサマリ画面を追加しました。

◎FAX エクスプローラの一覧上で選択しているアイテムの 1 ページ目を、別画面でイメージプレビューできるようにしました。

◎ライトニング FAX クライアントから FAX 送信、または FAX 返信する際に、初めて送信する相手先や一定期間送信していない相手先か否かを確認できるようにしました。

◎送信画面を起動した時のカバーシート有無のチェック状態を指定できるようにしました。

◎異なる用紙サイズのページが混在している、または縦・横の用紙方向のページが混在している FAX をライトニング FAX ビューワから FAX 送信、または FAX 返信する場合、各ページの用紙サイズを維持して送信できるようにしました。

◎ライトニング FAX ビューワに斜行補正機能を追加しました。

◎標準検索機能において、以下の検索条件で検索できるようにしました。

- ・タイプ「日時」の条件設定で、本日から過去何日前までの範囲を検索対象とする。
- ・タイプ「文字列」の条件設定で、「空白以外」を検索対象とする。
- ・項目「ユーザ ID」の条件設定で、複数のユーザ ID を検索対象とする。
- ・項目「ステータス」の条件設定で、「すべての送信 FAX」または「すべての受信 FAX」を検索対象とする。

#### [受信 FAX 効率化機能関連]

◎ライトニング FAX ビューワの項目編集フィールドで、プルダウンのリストからあらかじめ登録してある文字列を選択できるようにしました。

◎ライトニング FAX ビューワ内でのワンタッチ操作で、指定のファイルを実行できるようにしました。

#### [API 機能関連]

◎フォルダ連携機能の受信登録サービスにおいて、監視フォルダ毎に「登録先ユーザ ID」と「カラム文字列」を指定できるようにしました。

#### [改修項目]

以下の問題点を修正しました。

#### [インストール関連]

- ・セキュリティオプションを使用している場合、ライトニング FAX クライアントを Rev66 以降に上書きインストールすると、FAX エクスプローラ承認/確認送信機能の設定が、「再承認操作の禁止する」設定となる。

#### [ドライバ機能関連]

- ・Dialogic 社製 TR1034 FAX ボードを使用している場合、24 バイトの FAX 番号を指定すると先頭から 23 バイトの FAX 番号で発信する。
- ・Dialogic 社製 TR1034 FAX ボードを使用している場合、LFdriver が出力するはずのメッセージがイベントログに表示されない。

- NTT データ先端技術社製 VOISTAGE マルチメディアボックスを使用している場合、着信直後に回線が切断されると、その回線が使用できなくなる。
- 以下の NTT データ先端技術社製 VOISTAGE マルチメディアボックスを使用している場合、送信アイテムが送信中のままになることがある。
  - VS-412MB
  - VS-2301MB
- NTT データ先端技術社製 VOISTAGE マルチメディアボックスで受信した TIFF ファイルを Dialogic 社製 TR1034 FAX ボード、またはアバール長崎社製 CT Network BOX で送信できない。
- アバール長崎社製 CT Network BOX を使用している場合、フリーダイヤルへの送信がエラーコード「23007」で失敗することがある。

#### [クライアント機能関連]

- ライトニング FAX ビューワで回転して保存した TIFF ファイルが Windows フォト ビューアーなどで開けない。
- 送信画面の「送信設定」の「標準設定として保存」ボタンをクリックすると、送信ユーザのユーザ編集で設定した DID 番号が以下の規則で書き換わる。
  - DID 番号が 10 桁以上の場合は先頭から 9 桁に切られる。
  - DID 番号の先頭が 0 の場合は先頭の 0 がすべて削除される。ただし、3 桁以下になる場合は 4 桁となるよう先頭から 0 を埋めて表示される。

#### [API 機能関連]

- @CONVERSION\_MODE に PDF\_TO\_TIF を指定した場合、PDF ファイルによっては正しい向きに変換されないことがある。
- @CONVERSION\_MODE に LFENGINE を指定した場合、PDF ファイルによっては回転し縮小されることがある。

#### [電子メールゲートウェイ機能関連]

- 午前 0 時から午前 8 時 59 分に送信された以下の通知メールの送信日時が翌日の日付になる。
  - 「新規受信」通知
  - 「送信成功」通知
  - 「送信失敗」通知
  - 添付ファイルが不正のエラー通知（電子メールクライアントからの FAX 送信時）
  - LFserver への接続失敗のエラー通知（電子メールクライアントからの FAX 送信時）

[その他]

以下の仮想環境での動作を確認しています。

仮想化システム	ゲスト OS	32ビット	64ビット
VMware ESXi 5.0	Microsoft Windows Server 2008 R2 Enterprise SP1	—	○
VMware ESXi 5.5	Microsoft Windows 7 Professional SP1	—	○
	Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard	—	○
Windows Server 2012 Hyper-V	Microsoft Windows 7 Ultimate SP1	○	—
	Microsoft Windows 8.1 Pro	—	○
	Microsoft Windows Server 2008 Standard SP2	○	—
	Microsoft Windows Server 2012 Standard	—	○
Windows Server 2012 R2 Hyper-V	Microsoft Windows Vista Business SP2	○	—
	Microsoft Windows 7 Professional SP1	—	○
	Microsoft Windows 8.1 Pro	○	○
	Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard	—	○

○：確認済み —：対象外

※VMware ESXi のゲスト OS 「Windows Server 2008 R2」と「Windows Server 2012 R2」は、アバール長崎社製 CT Network BOX 用のライトニング FAX ドライバについても動作を確認しています。

※ゲスト OS がクライアント OS の場合、ライトニング FAX のクライアント環境として動作を確認しています。

<前提条件>

仮想環境での利用を計画する場合、次の条件をふまえて検討してください。

- ・仮想化システム、ゲスト OS の保守については、お客様の責任でそれぞれのメーカー様、ベンダー様とご契約ください。
- ・ゲスト OS は、ネットワークの接続も含め正常に動作している必要があります。
- ・ゲスト OS のリソースは、ゲスト OS の必要分の他に弊社製品の H/W 要件を満たす十分なリソースを割り当ててください。
- ・仮想環境に起因する不具合は対応できかねます。

弊社で確認した仮想化システムとゲスト OS のバージョンと違うバージョンを組み合わせた場合の動作については弊社営業にご相談ください。

以 上